

次期三重県建設産業活性化プラン（仮称）（中間案）

将来ビジョン

技術力を持ち地域に貢献できる建設業

計画期間

令和2年度～令和5年度

現活性化プランの検証

キーワード① 技術力

- 【取組1】他機関発注工事の受注を可能とする技術力
- 【取組2】技術力向上に向けた取組
- 【取組3】若手技術者が活躍する場の創出

○成果と残された課題

- ICT（情報通信技術）活用工事（土工）の試行の結果、作業工数が約30%削減され、生産性が向上する効果を確認できました。
- 県内建設企業の在職者を対象とした研修・資格取得の支援を行い、延べ907名が資格を取得しました。
- 若手技術者の登用を促進するため、技術者の工事実績を評価しない工事などを試行しましたが、熟練技術者が優先して配置されたことから取組が進みませんでした。

○改善のポイント

- ICT活用工事の試行拡大など、新技術の活用により生産性向上を図る必要があります。
- 技術力の維持向上は、将来にわたって建設企業が自ら取り組む必要があります。
- 若手技術者が減少するなか、若手の登用よりも若手の入職や、技術承継を支援する必要があります。

キーワード② 地域貢献

- 【取組4】建設企業の連携による包括的な維持修繕の促進
- 【取組5】大規模災害発生後の復旧体制の確立

○成果と残された課題

- 地域維持型業務の拡大（道路除草業務を追加）により維持修繕工事に占める地域維持型JVの施工率が上昇し、地域の建設企業による包括的な維持修繕の促進に効果がありました。
- 建設業界の取組として組織的な災害対応訓練が実施されました。

○改善のポイント

- 地域維持型業務（工事）を拡大し、将来にわたり地域の維持修繕ができる体制を強化する必要があります。
- 組織的な災害対応訓練を継続し、大規模災害発生時に、応急復旧作業を迅速にできる体制を維持する必要があります。

キーワード③ 経営力

- 【取組6】計画的・安定的な受注・経営が可能となる入札制度への改善
- 【取組7】適正な利潤が確保できる入札制度への改善
- 【取組8】入職促進の取組
- 【取組9】完全週休二日制など労働環境改善の取組

○成果と残された課題

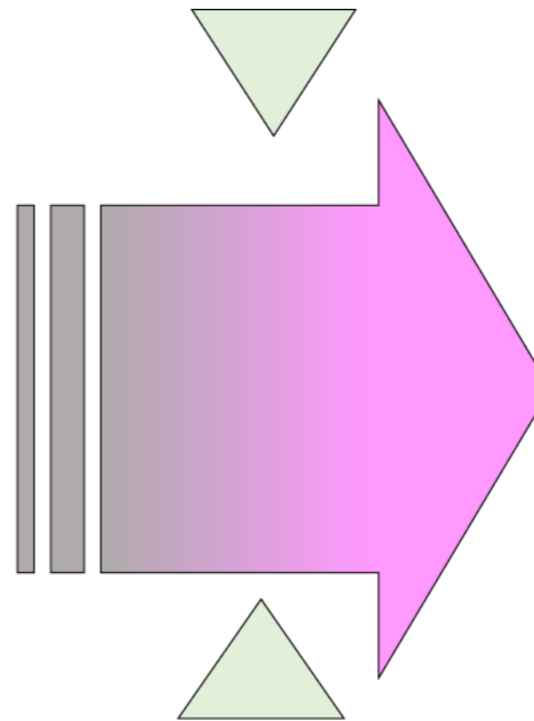
- 債務負担行為の活用や余裕期間設定工事の試行により、県発注工事の施工時期の平準化は一定図られました。
- 最低制限価格の上限撤廃などにより、落札率や売上高経常利益率が上昇し、適正な利潤の確保に一定の効果がありました。
- インターンシップや現場見学会への支援により、高校生の入職促進に努めましたが、若手入職は進んでいません。
- 週休二日制の試行工事の結果、現場閉所の取組は概ね達成できましたが、半数以上の労働者が他の現場に従事するなど休みが取れていない状況です。

○改善のポイント

- 施工時期の平準化の取組を継続するとともに、市町工事の施工時期の平準化を促進し生産性向上を図る必要があります。
- 入札制度の改善により、引き続き適正な利潤確保や安定経営を図る必要があります。
- 教育機関と連携し担い手確保（入職促進）に取り組む必要があります。
- 週休二日制工事を順次拡大するとともに、市町発注工事の取組を促進し労働環境の改善に取り組む必要があります。

建設業の現状と課題

- 担い手の確保と技能、技術の承継が喫緊の課題。
- 災害等の緊急対応ができる体制の維持継続が必要。
- 県内建設業の平均完工高が減少し経営は厳しい状況。
- 建設業は全産業と比べ長時間労働の状況であり、働き方改革への対応が必要。



新・担い手三法（発注者の責務）

- 働き方改革の推進
 - 適正な工期設定
 - 施工時期の平準化
 - 適切な設計変更
- 生産性向上への取組
 - 情報通信技術の活用等による生産性の向上
- 災害時の緊急対応強化
 - 緊急性に応じた随意契約・指名競争入札等の適切な選択

次期活性化プランの取組の方向

建設業の活性化のためには、将来にわたり地域の建設業の担い手を確保していくことが重要な課題ととらえ、働き方改革の視点を踏まえて、現活性化プランに引き続き入札・契約制度の改善を中心に取組を進めます。

次期活性化プランの取組方針

①技術の承継や新技術の活用に向けた取組

社会資本の整備や維持修繕の担い手として期待される役割が将来にわたり果たされるよう、技術・技能の承継や新技術の活用の取組を進めます。

- ICT試行工事の拡大
- 若手技術者への技術承継 など

②地域維持や災害対応への体制強化の取組

維持修繕業務や災害時の緊急対応など、地域の安全・安心を確保する体制強化の取組を進めます。

- 地域維持型業務の改善
- 災害対応訓練の促進 など

③担い手確保や労働環境改善の取組

建設業の最優先課題である担い手確保や長時間労働の是正、労働者の処遇改善などの労働環境改善の取組を進めます。

- 週休二日制工事の試行拡大
- 建設キャリアアップシステムの活用 など

④生産性向上への取組

担い手不足を補い、建設業を持続可能とするため、情報通信技術の活用等による生産性向上の取組を進めます。

- 施工時期の平準化
- ICT試行工事の拡大 など

⑤適正な利潤確保や安定経営への取組

建設業が将来にわたり存続できるよう、適正な利潤確保や安定経営に向けた取組を進めます。

- 予定価格事後公表の試行
- 安定した受注の確保 など